

令和4年度

事業報告書

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月 31日まで

「令和4年度 事業報告」目次

概 況

〈事業活動〉

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）

（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	3
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	7
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	8
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	9
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	10
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	11
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	13
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	14
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	15
（10）その他の事業	20

2 計量証明事業（収益事業1）

（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	21
（2）分析業務に関する講習会・研修会	21

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）

（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	21
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	22
（3）その他前各号に関連する事業	23

4 管理部門

（1）法人運営（管理）に関する事業	23
（2）会員関係	25
（3）その他	26

5 附属明細書

.....	27
-------	----

令和4年度 事業の実施状況

令和4年度の事業計画に基づき実施した事業は次のとおりである。

【公益目的事業1】

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 536,215千円

- 1) 令和4年度は、稼働人員38名体制で、95,749基（年間計画数95,000基に対し100.8%）を実施した。（P.63～P.71）

区 分	令和3年度 検 査 状 況	令和4年度 検 査 状 況	増 減
検査員数	38名	38名	0名
7条検査	2,594基 (23,921千円)	2,443基 (22,445千円)	△151基 (△1,476千円)
11条検査	91,644基 (505,049千円)	93,306基 (513,770千円)	1,662基 (8,721千円)
合 計	94,238基 (528,970千円)	95,749基 (536,215千円)	1,511基 (7,245千円)

検査手数料収入は、536,215千円で前年比7,245千円増となり、11条検査数については、昨年度比で1,662基増の実績となった。

また、11条検査の受検率は62.2%と昨年度から0.8%上回ったものの、まだ全体の約4割が未受検となっているため、浄化槽台帳の整備と併せて、ブロワ交換費補助金制度の活用や、とくしま浄化槽連絡協議会との連携を通じ、適正な維持管理とともに受検率の向上を図る。

2) 法定検査の受検督促

法定検査の受検督促については、令和3年度の未受検者を対象に、センターから受検指導を行った後に、各県民局長による行政督促指導を行った。

未受検者への指導には、文書を通知するほか、電話や直接訪問により同一施設へ度重なる受検勧奨を積極的に取り組んだ。

前年度未受検 検査実施数：	令和3年度（7,039基）	
	令和4年度（6,837基）	－202基

※次の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含んでおります。

①センターによる受検督促

未受検者に対するセンターからの受検案内通知に併せ、電話アポインター（6名）や近隣施設の検査を担当する検査員によって受検勧奨を行った。その結果は次のとおりである。

(P.72)

<センター受検勸奨>

管 轄	令和3年度		令和4年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	74,288	1,880(2.5%)	74,049	2,543(3.4%)	663
南部総合県民局	13,154	833(6.3%)	12,904	386(3.0%)	▲447
東部保健福祉局(吉野川)	13,746	227(1.7%)	13,817	222(1.6%)	▲ 5
西部総合県民局	11,674	281(2.4%)	11,869	371(3.1%)	90
合 計	112,862	3,221(2.9%)	112,639	3,522(3.1%)	301

②県民局長による受検督促(文書指導)

センターの受検勸奨後も未受検の施設については、各県民局長による受検督促の文書指導を行い、これに併せて再度電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって受検勸奨を行った。その結果は次の通りである。(P.72)

<行政からの文書指導(設置届出済浄化槽)>

管 轄	令和3年度		令和4年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	45,662	1,520(3.3%)	45,261	1,041(2.3%)	▲479
南部総合県民局	8,731	344(3.9%)	8,814	359(4.1%)	15
東部保健福祉局(吉野川)	6,874	289(4.2%)	6,916	222(3.2%)	▲ 67
西部総合県民局	6,463	358(5.5%)	6,439	345(5.4%)	▲ 13
合 計	67,730	2,511(3.7%)	67,430	1,967(2.9%)	▲544

<行政からの文書指導(無届浄化槽)>

管 轄	令和3年度		令和4年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	8,043	316(3.9%)	7,439	231(3.1%)	▲ 85
南部総合県民局	727	21(2.9%)	734	34(4.6%)	13
東部保健福祉局(吉野川)	1,760	65(3.7%)	1,733	51(2.9%)	▲ 14
西部総合県民局	1,393	61(4.4%)	1,312	71(5.4%)	10
合 計	11,923	463(3.9%)	11,218	387(3.4%)	▲76

③電話アポインターによる受検勸奨

センターからの受検通知・各県民局長による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検勸奨の実績は次のとおりである。(P.72)

今期は、前年度の受検指導の結果を分析したリストで電話アポイントを行い、電話連絡総数は70,387件の実績であった。依然、未検査のうち半数以上が連絡不通であるため、今後も過去の連絡履歴を分析し精度を上げることによって、受検率向上につながるよう努める。

電話アポインターによる受検指導	電話連絡総数	70,387件
【内訳】	申込済み	4,036件(5.7%)
	未検査	62,112件(88.3%)
	休止・廃止	4,239件(6.0%)

④那賀町らくらくあんしん協議会

設立後13年目を迎えた那賀町らくらくあんしん協議会は、6月に第12回通常総会を開催し、前年度の実績報告・決算報告を行った。また、総会では協議会の名称変更についての提案があり、今後、新たな協議会名を決定し、変更に係る手続きを行う予定である。

令和4年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行うことにより新規契約が12件（総合計904件）となったが、その一方、高齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。

(P.73)

また、特別認定管理士による法定検査（一次検査）の実施は、単独浄化槽296件、合併浄化槽214件の合計510件となった。

<開催事業>

(6月30日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 第12回通常総会

浄化槽設置数(10人槽以下): 2, 038基 維持管理一括契約数: 904基 (44.4%)

⑤神山町きれいな水づくり推進協議会

設立後12年目を迎えた神山町きれいな水づくり推進協議会は、6月に第11回通常総会を開催し前年度の実績報告・決算報告を行った。

令和4年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行うことにより新規契約が12件（総合計485件）となったが、那賀町と同様に高齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。(P.74)

また、特別認定管理士による法定検査（一次検査）の実施は、単独浄化槽188件、合併浄化槽97件の合計285件となった。

<開催事業>

(6月7日) 神山町きれいな水づくり推進協議会 第11回総会

浄化槽設置数(10人槽以下): 1, 898基 維持管理一括契約数: 485基 (25.6%)



神山町きれいな水づくり推進協議会(6/7)

3) 浄化槽管理士特別認定制度

認定管理士に対し、1年（優良認定管理士は2年）ごとの更新講習を各地域ごとに開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

8月22日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第1回）（南部地区）（5名）

8月23日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第2回）（西部地区）（5名）

8月24日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第3回）（東部地区）（4名）

9月26日(午前)浄化槽管理士特別認定更新講習会（第4回）（東部地区）（5名）

- 9月26日(午後)浄化槽管理士特別認定更新講習会(第5回)(東部地区)(18名)
- 1月18日 浄化槽管理士特別認定制度新規講習会(第1種)(1名)
- 1月19日 浄化槽管理士特別認定制度講習会(第1種、第2種、更新)(3名)
- 3月14日 第18回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

【認定管理士・指定事業所(令和5年3月31日時点)】

認定管理士 — 1種10名、2種66名

指定事業所 — 27社

【認定管理士による一次検査実績(令和4年度)】

1,079件(那賀町-510件、神山町-285件、その他-284件)



管理士特別認定更新講習会(8/22)



管理士特別認定新規講習会(1/19)

4) 一括契約協議会の推進

市町村単位に設立された一括契約協議会では、海部郡の関係業者による契約推進が行われており、新規契約が81件(総合計258件)増と加入実績が伸びた。

海部郡の取り組み事例を参考に、実績の無い市町村については、実運用に取り組めるよう、一括契約加入時の事務取扱や啓発方法について決定し推進する。

【設立済市町村】

三好市、海部郡(3町)、美馬市・つるぎ町(合同)、小松島市、勝浦町・上勝町(合同)、那賀町、神山町

5) 継続検査制度の推進

平成28年度から制度を開始した「継続検査申込制度」は申込の手続きが完了した施設について、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査を実施している。

現時点では概ね良好に制度が推移しているが、一部で、転居して転売した施設や、契約者が死去し、使用していない施設の検査が勝手に行われたとの苦情が寄せられるケースも出てきているため、可能な限り設置者と連絡を取り施設の状況を確認するよう対策を講じていきたい。

令和4年度での「継続検査申込」の申込数は、28,201件ののぼっており、11条検査推進に効果を上げた。

6) 「ブロワ交換費補助制度」事業

適正な維持管理を実施する管理者へのインセンティブとして設けた「ブロワ交換費補助制度」では令和4年度は155件の補助申請を受け付けた(うち9件は該当せず)。

<ブロー交換費補助実績> 令和4年度の受付

○申請件数 : 155件
 (内訳) 補助対象適用(助成済) : 119件、
 " (手続き中) : 27件
 補助対象外(要件満たさず不適用) : 9件

(2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 浄化槽台帳システム共同利用の協定締結

調査を進めてきた無届浄化槽の整備が完了したことから、「合併処理浄化槽への転換」や「浄化槽の維持管理の適正化」を図ることを目的として、当センターが所有する「浄化槽台帳システム」の共同利用について徳島県と協定を締結した。

令和5年2月1日 浄化槽台帳システムの共同利用に係る協定締結



浄化槽台帳システムの共同利用にかかる協定締結式(2/1)

2) 浄化槽台帳システムのDX化の導入

浄化槽台帳高度化(台帳整備)事業により台帳の整備が完了したことから、今後は、より高度な浄化槽台帳システムの構築を目指し、浄化槽台帳システムのDX化の導入を図ることを決定した。(令和5年度～)

【浄化槽台帳システム DX化の具体案】

浄化槽に関する作業(施工・保守点検・清掃)時に、現場のバーコードシールを読み、送信することで業務の実施報告を行う。

<効果>

- ①浄化槽設備士、浄化槽管理士、清掃実務者、検査員をID化することにより、無資格者の作業を防止できる。
- ②清掃や保守点検の実施状況を正確に把握し、共有できる

<活用>

- ①浄化槽設備士による適正な工事を推進
- ②法令に定める保守点検や清掃の確実な実施を推進
- ③合併浄化槽への効果的な普及啓発活動を展開

3) 徳島県委託事業「浄化槽情報関係集約化事業」

(7,500千円)

令和4年度は4支所で新設浄化槽2,387基(うち25基は取下げ届提出)の設置届出書及び計画書を受け付け、昨年度と比較し、173基減となった。一方、検査実施後の指導により、無届浄化槽の届出が108基あった。

「浄化槽維持管理標準契約書」(以下「標準契約書」という)については、申請に併せて2,148基分(前年度比153基減)の契約書を受け付けた。

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.75~P.77のとおりである。

4) 浄化槽台帳高度化(台帳整備)事業

(3,000千円)

「浄化槽台帳の整備」を目的に、郵便物が届かない浄化槽や連絡がつかない浄化槽に対して現地調査を行い、データ整備を行った。併せて、市町村からの提供資料(下水道台帳)を突合し、廃止届出書の提出が無い浄化槽の確認も行った。

現地調査対象件数:3,420基

下水道台帳により確認した廃止浄化槽:344件

5) 浄化槽台帳高度化(システム整備)事業

(1,000千円)

県担当者が外部からの問合せや調査に当センターの浄化槽台帳が活用できるよう、仕様や帳票の様式を決定し、閲覧システムを構築した。

(3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽の指導と改善状況

法定検査で不適正となった際には、まず、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関(県水・環境課、県民局(福祉局)、土木、市町村)から文書による改善指導を行っている。令和4年度の関係行政機関からの改善指導はP.78のとおりである。

不適正と判定された浄化槽15,185基(指導項目総数15,662項目)に対し、改善指導を行った結果、令和5年3月末までに、3,180項目の改善報告を受け付けた。

関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導件数	改善報告数	改善確認数
県 水・環境課	保守点検業者	保守点検不備	7,719件	2,341(30.3%)	-
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	6,819件	636(9.3%)	-
土木事務所・特定行政庁	浄化槽管理者	破損等	540件	158(29.3%)	105(19.4%)
市町村	清掃業者	清掃不備	584件	45(7.7%)	-
合 計			15,662件	3,180(20.3%)	

※破損等(土木事務所指導分)の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っている。

改善報告率は年度末分途中のため低い数値であるが、最終的には25%程度の数値となると思われる。

2) 浄化槽技術検討委員会

センターでは、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明なものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査の実施を行っている。

実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

<浄化槽技術検討委員会の開催>

機能評価部会 : 5/11、7/25、9/21、11/2、12/21、2/14
 クロスチェック部会 : 6/27、10/24、2/20、3/31

水質悪化原因	件数	二次検査内容
担体充填率低下による	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
生物膜の育成不良による	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
循環装置の詰まりによる	3件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
送風機吸気口の詰まりによる風量低下	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
送風機の設定不良(循環水量過小)	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
生使用水量過多	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合計	10件	

3) 浄化槽の実態調査事業

331千円(実地調査事業)

合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針の要件を満たす浄化槽かどうかの確認のため、(公財)日本環境整備教育センターの委託による浄化槽の実態調査を行った。

(4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業

2,277千円(機能保証登録料)

令和4年度は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書864基(取下除く)を受付し、全浄連及び管轄の市町村には、保証制度登録者受付台帳を送付した。また、設置者には、機能保証登録証とともに適正な維持管理のパンフレット及び「標準契約書」の控えを送付し、使用開始後の適正な維持管理についての周知を図った。(P.79)

	令和3年度		令和4年度		前年度対比	
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ
書類申請	815基	9基	736基	15基	▲79基	6基
電子申請	186基	22基	128基	3基	▲58基	▲19基
合計	1,001基	31基	864基	18基	▲137基	▲13基

なお、令和4年度は機能保証制度利用申請が2件あった。

【機能保証の申立】・・・2件

保証申立日	地域	状況	結果
令和4年 4月11日	那賀町 (H27.6使用開始)	保守点検実施時に(接触ろ床槽又は処理水槽)の漏水を確認。	機能保証制度地方審査委員会で「原因者が特定できない瑕疵が発生した場合」として保証の対象とすることを決定。
令和4年 7月6日	藍住町 (H26.10使用開始)	保守点検作業時において、好気ろ床槽の水位低下及び好気ろ床槽と消毒槽の間の短絡を確認。	機能保証制度地方審査委員会で「原因者が特定できない瑕疵が発生した場合」として保証の対象とすることを決定。

(5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認検査等の事業

1) 浄化槽なんでも相談窓口の開設

浄化槽の普及や適正な維持管理の推進を目的に、県民や行政担当者、関係業者からの「疑問」や「相談」など浄化槽に関する幅広い問い合わせにもワンストップで対応出来るよう、センター内に「浄化槽なんでも相談窓口」を新たに開設し、サービスの拡充を図った。

2) 普及啓発活動

県が主催する浄化槽に関する普及啓発事業に参加し、合併浄化槽への転換や適正な維持管理を呼びかけた。

<浄化槽月間 啓発活動>

- 10月17日 三好市フレスポ阿波池田でパンフレットの配布、相談対応
- 10月17日 東みよし町マルナカ三加茂店でパンフレットの配布、相談対応
- 10月20日 小松島市あいさい広場でパンフレットの配布、相談対応
- 10月31日 阿南市ショッピングプラザアピカでパンフレットの配布、相談対応
- 1月25日 美馬市マルナカ脇町店でパンフレットの配布、相談対応

浄化槽月間 啓発活動



(フレスポ阿波池田 10/17)



(マルナカ三加茂店 10/17)



(あいさい広場10/20)



(ショッピングプラザアピカ 10/31)

3) 支所窓口 (県内4支所)

- ① 4支所窓口において、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ② 県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務については、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ③ 設置届けに添付が義務づけられた「標準契約書」については、50人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ④ 申請のあった浄化槽管理者に対し、7条及び11条検査の申込書、設置届出書(又は計画書)及び、標準契約書(50人槽以下)もしくは検査誓約書・契約書(51人槽以上)の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行又は送付した。

4) 浄化槽設置に係る確認検査

令和4年度の委託事業として、下記市町の浄化槽設置確認検査及び事前審査を行った。

市 町 村	事業内容	令和3年度	令和4年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	83基	43基	▲40基
	設置確認検査業務	97基	45基	▲52基
東みよし町	中間検査業務	50基	48基	▲2基
	完了検査業務	54基	53基	▲1基

5) その他の啓発

インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。

(6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

1) 浄化槽教室の開催

新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳を送付した。(P.80)

令和4年の受講者数は1,382名で、そのうちWEB受講が1,179名(49.2%)、会場での受講は203名(8.5%)となり、感染症の影響だけでなく、利便性の面からもWEB受講の利用が多くなっている。

この教室は、浄化槽に関する知識を習得し、適正な維持管理に繋げるための非常に有効な研修機会として捉えており、受講の効果を検証しながら構成内容もさらに充実していきたい。

	令和3年度	令和4年度	差 異
対 象 数	2,146基	2,395基	249基
開 催 回 数	22回	28回	6回
受 講 者 数 (内訳)	1,493名(69.6%)	1,382名(57.7%)	▲111名
会場受講	184名(8.6%)	203名(8.5%)	19名
WEB受講	1,309名(61.0%)	1,179名(49.2%)	▲130名

※対象者数：令和4年4月～令和5年1月末に設置申請が提出された件数です。

令和4年2月～令和4年3月末に設置申請されたうちの教室未受講者

浄化槽教室



阿南会場(6/21)



津田会場(2/22)

2) 行政担当者向け研修会の開催

年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「浄化槽実務者研修会」・「行政担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

【浄化槽実務者研修会】

浄化槽のしくみ、水質機器の操作方法、使用目的、行政指導に結びつく事例、電話での問合せや訪問指導時の事例等を浄化槽の設置現場で説明した。

5月20日	浄化槽実務者研修会（徳島県環境技術センター）	5名
9月27日	浄化槽実務者研修会（市場大俣公民館）	5名
9月29日	浄化槽実務者研修会（富岡公民館学原会館）	3名
11月30日	浄化槽実務者研修会（徳島県環境技術センター）	2名

浄化槽実務者研修会



徳島環境技術センター(5/20)



大俣公民館(9/27)

【令和4年度 行政担当者説明会】

- 日 程 : 令和4年6月17日
開催場所 : アスティとくしま 第1会議室
出席人数 : 市町村行政関係者24名
内 容 :
 - ・浄化槽及び臭気の基礎知識について
 - ・法定検査実施状況について
 - ・人員算定について



令和4年度行政担当者説明会(6/17)

3) 徳島県浄化槽保守点検業者登録条例に基づく浄化槽管理士研修の開催

「徳島県浄化槽保守点検業者登録条例」では、浄化槽保守点検業に登録する浄化槽管理士に対し研修会の受講が義務付けられたが、研修会の実施については当センターが県から指定を受けたため下記日程で浄化槽管理士研修を実施した。

- 開催日程：第1回 8月25日（2名受講）（会場：徳島県環境技術センター）
第2回 10月4日（25名受講）（会場：徳島県環境技術センター）
第3回 11月15日（18名受講）（会場：徳島県環境技術センター）
第4回 2月7日（51名受講）（会場：徳島県郷土文化会館あわぎんホール）
第5回 2月16日（14名受講）（会場：徳島県立西部防災館）
第6回 2月21日（15名受講）（会場：阿南文化会館夢ホール）

内 容：【浄化槽管理士の研修プログラム】

<全国共通枠>

- I 浄化槽行政の動向
- II 浄化槽の構造と機能
- III 浄化槽の保守点検と清掃

講師：（公財）公益財団法人日本環境整備教育センター
講習事業グループサントリーナー 加藤 裕之氏

<地方枠>

- IV 地域における浄化槽情報

○法定検査に関して

講師：公益社団法人徳島県環境技術センター
事業推進部長 川原浩二

○浄化槽に関する施策展開と普及状況

講師：徳島県県土整備部水・環境課
主事 福島 好宏氏

浄化槽管理士研修会



郷土文化会館あわぎんホール(2/7)



阿南文化会館夢ホール(2/21)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

1) 機関誌「みどり」

浄化槽に係る最新情報や浄化槽に関する各種データ等を載せた月刊機関誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の4支所にも備え置き、一般の方にも提供、同時にインターネットのホームページにも掲載した。

2) 全浄連ニュース

浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している、「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

3) その他の情報提供

各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類についての調査を行い、その情報を取り纏めて一覧表を作成し、関係者に配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

1) 「とくしま浄化槽連絡協議会」への参画

第5回とくしま浄化槽連絡協議会では、これまでの取り組みとその成果についての報告のほか、センター所属部会で取り纏めた要望事項をはじめ浄化槽関係団体や市町から提出された「浄化槽に関する新たな要望や課題」が議場に示され、今後の検討事項として取り組んで行くこととなった。

7月6日 第5回とくしま浄化槽連絡協議会

2月2日 第6回とくしま浄化槽連絡協議会

<これまでの取り組みのテーマ>

①普及・転換促進のための新たな支援策
②浄化槽台帳整備
③人槽算定
④適正な維持管理
⑤災害時などの対応
⑥公共浄化槽整備の推進

<新たな要望や課題>

①「年1回以上の清掃」の確実な実施
②適正な維持管理の徹底
③適正な施工の担保
④単独浄化槽の転換促進
⑤災害時等の連携強化
⑥高齢化などの将来を見据えた施策

とくしま浄化槽連絡協議会とは
 浄化槽法改正に伴い、令和2年8月に県水・環境課主導のもと設立された協議会。
 県・市町村担当者のほか、工事業者、浄化槽清掃業者、浄化槽保守点検業者、指定
 検査機関、メーカー、市町村設置型浄化槽整備特別目的会社等で構成され、官民協
 働で地域における浄化槽の様々な課題の解決を進めていく。

2) 徳島市 合併浄化槽転換推進事業

(339千円)

徳島市合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパンフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を勧めた。

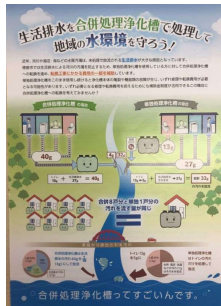
この転換推進は、毎年ほぼ同じ設置者に対し啓発しているのが現状で、効果の低下が懸念されることから市と協議を行い、今年度はパンフレットの内容を変更して推進している。

転換推進啓発内容	令和3年度	令和4年度	前年度対比
パンフレット配布業務	4,760件	4,742基	▲18基
合併への転換説明業務	1,521件	1,590基	69基
啓 発 数 計	6,281件	6,332基	51基

<参考 徳島市設置事前検査における設置・転換状況>

	～27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	累計
設置	577	637	563	574	0	0	0	0	2,351
転換	68	51	49	44	45	71	83	43	454

転換啓発用パンフレット
(徳島市)



3) 全浄連 浄化槽システムの脱炭素化推進事業 (304千円)

全浄連の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(浄化槽システムの脱炭素化推進事業)の実施にあたり、センターが県内の受付窓口を行った結果、令和4年度は6件の申請を受け付けた。

<申請受付状況>

(1) : 30人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する電動機器を最新型の高効率機器への改修事業

受付件数 6件

補助金申請額 7,983,000円

(2) : 30人槽以上の既設合併処理浄化槽から先進的な省エネ型浄化槽への本体交換事業

受付件数 0件

(3) : 上記(1)又は(2)事業と併せて実施する再生可能エネルギーの導入事業

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

1) 災害支援活動に向けた取り組み

①災害支援訓練

とくしま浄化槽連絡協議会で構築した災害発生時の支援体制に基づき、県の「徳島県防災図上訓練」に参加した。訓練では、県から発出される仮設トイレやし尿の収集運搬の要請に対し、センターが窓口となって関係団体・会員企業への支援要請の伝達を行った。

1月17日 徳島県防災図上訓練に参加

②浄化槽関係4団体との協定締結

また、この徳島県防災図上訓練により、県内で「大規模災害」「県民生活に重大な影響を及ぼす恐れのある浄化槽に係る事故」が発生した際には円滑な支援ができるよう一元化すべきであるとし、徳島県および浄化槽関係4団体が協定を締結した。

<関係4団体>

- ・公益社団法人徳島県環境技術センター
- ・一般社団法人徳島県環境保全協会
- ・徳島県環境整備事業協同組合
- ・徳島県市町村設置型浄化槽整備特別目的会社

3月20日 大規模災害・事故等時における

し尿等の収集運搬及び仮設トイレの設置等に関する協定締結式



し尿等の収集運搬及び仮設トイレの設置等に関する協定締結式(3/20)

2) 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南で環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センター担当者は幹事として参画し、各種イベントの開催について協議を行ってきた。

【会議への参加】

- 5月12日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議（WEB会議）
- 6月15日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議（WEB会議）
- 6月22日 みなみから届ける環づくり会議総会
- 7月30日 「夏休み出動！川の調査探検」
- 8月17日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議（WEB会議）

【イベントへの参加】

- 7月30日 「夏休み出動！川の調査探検」（阿南市三谷川・打樋川）

3) 環境学習の取り組み

学校教育において、環境学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

また、学校以外に、各地域で取り組む環境保全活動において、講師として招かれ、水環境保全や浄化槽についての講演を行った。（小学校－20回 計20回）

【環境学習への取り組み】

- | | |
|---------------|---------------|
| 6月28日 平島小学校 | 7月01日 海南小学校 |
| 7月05日 高越小学校 | 7月07日 八幡小学校 |
| 7月08日 鴨島小学校 | 7月12日 吉井小学校 |
| 7月14日 佐那河内小学校 | 7月19日 辻小学校 |
| 8月31日 黒崎小学校 | 9月01日 桑島小学校 |
| 9月06日 江原南小学校 | 9月16日 津乃峰小学校 |
| 9月20日 林小学校 | 9月22日 平島小学校 |
| 9月26日 岩倉小学校 | 9月27日 徳島文理小学校 |
| 9月29日 池田小学校 | 9月30日 見能林小学校 |
| 10月05日 助任小学校 | 10月06日 北島南小学校 |

※感染症予防のため中止（1校）

7月15日 藍住北小学校



平島小学校 (6/28)



海南小学校 (7/1)



高越小学校 (7/5)



八幡小学校 (7/7)



鴨島小学校 (7/8)



吉井小学校 (7/12)



佐那河内小学校 (7/14)



辻小学校 (7/19)



黒崎小学校 (8/31)



桑島小学校 (9/1)



江原南小学校 (9/6)



津乃峰小学校 (9/16)



林小学校 (9/20)



平島小学校 (9/22)



岩倉小学校 (9/26)



徳島文理小学校 (9/27)



池田小学校 (9/29)



見能林小学校 (9/30)



助任小学校(10/5)



北島南小学校(10/6)

4) 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休み課題のポスターを募集した。今年度は60作品の応募があり、9月27日に優秀作品を選考し、11月22日には徳島県知事による表彰状の授与式を行った。

尚、優秀作品については、県庁で一般公開したほか、令和5年度のカレンダーに活用し、小中学校に配布した。

7月～9月 県内小中等学校へ作品の募集

9月 5日 応募締切(60作品)

9月 5日～16日

令和3年度「浄化槽の日」ポスターコンクール優秀作品展示(県庁)

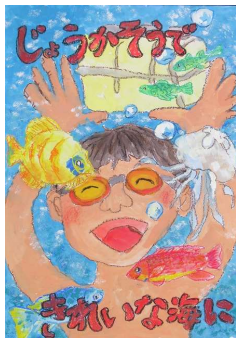
9月27日 応募作品審査会(応募60点 最優秀-2点、優秀-6点、佳作-15点)

11月22日 徳島グランヴィリオホテルにて優秀作品表彰式

12月 5日～16日

徳島県庁にて優秀作品の展示

令和4年度「浄化槽の日」ポスターコンクール



(小学校の部 最優秀作品)



(中学校の部 最優秀作品)



(表彰式で知事と記念撮影)

5) 「水すまし隊」による活動

県内のこどもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の重要性を知ってもらうため、センターの若手職員があすたむらんど「水の日イベント」に参加した。

6月 4日 あすたむらんど「エコ工作 ペットボトルでジョウロを作ろう」

エコをテーマとして、使用済みのペットボトルを用いて、ペットボトルジョウロを作った。

6月18日 エコみらい6月講座「竹のからくりおもちゃを作ろう」

徳島市の竹林整備の際に伐採された竹を使って「竹へび」の竹細工製作を行った。

- 11月 5日 サイエンスフェア2022 おもしろ博士の実験室
使用済みペットボトルのキャップでキーホルダーを作った。
- 11月26日 青少年のための科学の祭典
簡易水質測定器パックテストを用いて水の汚れを学んだ。



あすたむらんど エコ工作 (6/4)



エコみらい6月講座(6/18)



サイエンスフェア 2022(11/5)



青少年のための科学の祭典(11/26)

6) 清掃活動

徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園で除草や清掃を実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。

活動実施日：9月26日、12月14日、3月23日

7) 「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

- 5月18日 金磯海岸水質検査の実施
センターの協賛事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。
- 6月11日 「リフレッシュ瀬戸内」清掃ボランティア活動の参加
役職員合わせて約50名が参加し、横須・金磯海岸の清掃奉仕活動を行うとともに、参加者にセンターオリジナルのうちわを配布し、浄化槽の適正な維持管理の啓発を行った。



リフレッシュ瀬戸内清掃ボランティア活動(6/11)



パークアドプト清掃活動(9/26)

8) CSR活動報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <https://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

1) 職員の技術向上

職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。

4月22日	安全衛生 保健師による保健指導
5月29日	
～6月11日	浄化槽管理士講習（1名）
6月3日	検査員基礎知識試験（検査員）
7月15日	徳島県環境整備事業協同組合主催 徳島県浄化槽実務者研修会（3名）
9月14日	
～9月20日	浄化槽検査員講習（1名）
10月12日	安全運転管理者講習
10月13日	職員内部研修「浄化槽法の基礎」
12月7日	検査員基礎知識試験（検査員）
12月8日	副安全運転管理者講習
1月23日	徳島市企業体人権問題研修会

センターは、JIS規格に適合した個人情報マネジメントシステムを構築し、それに基づく適正な運営を実施、プライバシーマークの認定を受けている。また、全職員を対象とした月一回のe-ラーニングや個人情報に関する理解度確認テストなどの体制を整え、継続的な業務の精度向上を図っている。

また、7月4日にプライバシーマークの更新審査が行われ、センターの取り組みに「付与適格」との判定を受けた。

7月4日	プライバシーマーク付与適格性更新審査
2月23日	プライバシーマーク内部監査



また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。

7月26日	エコアクション21 推進会議
-------	----------------



2) 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会

4月19日	全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会（徳島）
9月15日～16日	検査機関四国地区協議会検査員研修会（徳島）
2月27日	全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会合同事務局長会（東京）

※感染症予防のため中止となった事業

11月12日 浄化槽法指定検査機関四国地区協議会ソフトボール大会（高知）



全浄連四国地区・
検査機関四国地区協議会総会 (4/19)

検査機関四国地区協議会
検査員研修会 (9/15～16)

【収益事業1】

2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 37,016千円（計量証明手数料）

濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に水質分析を実施した。

令和4年度の証明件数は2,933件で売上げは37,016千円であった。

（前年度比 売上額：296千円増）（P.81）

(2) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

<研修会・講習会>

11月21日 e-計量とは（計量証明書の電子化について）

1月27日 環境計量証明事業者クロスチェック事業結果検討会

【収益事業2】

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 講習会・研修会の開催

①徳島県浄化槽管理士会との共催事業

県内の保守点検業者・清掃業者等の業界関係者を対象に、令和4年度浄化槽技術講習会を開催した。また、講習のほか、浄化槽の関連機器の展示も行った。

【令和4年度 浄化槽技術講習会】（参加者：70名）

開催日：令和5年2月2日

会場：徳島グランヴィリオホテル

講義：①ハウステック KRS 型の構造および維持管理について

（講師）株式会社ハウステック 環境ビジネスユニット 設計 塚本幸二氏

②ニッコー水創り王の構造および維持管理について

（講師）ニッコー株式会社 水創り事業部 技術開発部長 和田吉弘氏

③浄化槽に関する情報提供

（講師）徳島県環境技術センター 検査係長 阿部秀男



浄化槽技術講習会 (2/2)

②徳島県浄化槽設備士会との共催事業

センター会員・徳島県浄化槽設備士会会員等の業界関係者を対象に、徳島県浄化槽設備士会との共催で令和4年度施工技術講習会を開催した。

【令和4年度 施工技術講習会】(参加者：7名)

開催日：令和5年2月25日

会場：徳島県環境技術センター4階会議室

講義：①労働災害の予防と医療従事者が教える身体のメンテナンス
(講師) 整体師 宮下賢太郎 氏



施工技術講習会 (2/25)

③会員従業員の資格取得の支援

会員従業員に高い知識や技能、技術力を身につけてもらうため、資格取得に関する試験対策講座を開催した。

4月23日(土)～24日(日) 第2種電気工事講習会(筆記講習) 10名
(主催：(一社)日本科学技術センター)

6月25日(土)～26日(日) 第2種電気工事講習会(技能講習) 8名
(主催：(一社)日本科学技術センター)

(2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 保証登録電子申請

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) プレキャストコンクリート

令和4年度のプレキャストコンクリート底板(PC底板)の売上は8,225千円であった。(昨年度比 ▲446千円)

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で見学を行っている。

8,225千円

PC底板製品検査 5月6日、5月27日、7月22日、10月28日、12月22日

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽 (1枚もの)	369枚	5,717千円
5人槽 (2分割)	4枚	99千円
7人槽 (1枚もの)	100枚	2,083千円
7人槽 (2分割)	4枚	107千円
アイボルト	8本	13千円
ブロワ台	108台	178千円

(3) その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量	金額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	2,599部	519千円
	標準契約書	2,229部	449千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	76部	15千円
	標準保守点検記録票	1,886部	1,287千円
	標準清掃記録票	259部	151千円
	工事業・特例工事業申請書	5部	2.5千円
	保守点検業登録申請書	11部	5.5千円
機器販売	鍵付万能フック (30cm)	1,050本	1,542千円
	鍵付万能フック (44cm)	814本	1,439千円
	その他	—	316千円

【その他の事業】

4 管理部門 (法人)

(1) 法人運営に関する事業

1) 監査・総会の開催

【会計・業務監査】

4月26日 令和3年度の会計監査・業務監査を行った。

10月25日 令和4年度上半期の会計監査・業務監査を行った。

【定時社員総会】

5月30日

第12回定時社員総会を開催し、令和3年度の事業報告・決算報告並びに、任期満了に伴う理事 (10名) 及び監事 (2名) の選任を行った。

2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。

・常任理事会 (12回)、理事会 (11回)



会計及び業務監査 (4/26)



第12回定時社員総会 (5/30)

3) センター地区報告会・所属部会の開催

【センター各種部会】

各業界の課題解決を目的として、センター所属部会を開催した。

①清掃部会

<第1回(10月7日開催)出席者10名>

- 【議題】 (1)令和3年度の所属部会の実施報告について
(2)とくしま浄化槽連絡協議会の経過報告について

②保守点検部会

<第1回(10月7日開催)出席者12名>

- 【議題】 (1)令和3年度の所属部会の実施報告について
(2)とくしま浄化槽連絡協議会の経過報告について

③施工部会

<第1回(10月12日開催)出席者7名>

- 【議題】 (1)令和3年度の所属部会の実施報告について
(2)とくしま浄化槽連絡協議会の経過報告について

<第2回(12月27日開催)出席者7名>

- 【議題】 (1)浄化槽の適正施工を担保するための施策について
(2)施工部会の新たな要望(案)等について

④メーカー部会

<第1回(10月14日開催)出席者6名>

- 【議題】 (1)令和3年度の所属部会の実施報告について
(2)とくしま浄化槽連絡協議会の経過報告について



清掃部会(10/7)



保守点検部会(10/7)



メーカー部会(10/14)

4) 全浄連関係会議

- 4月11日～12日 全浄連事務局長会議(テレビ会議)に出席した。
- 5月10日 全浄連第1回正副会長会に出席した。(全浄連本部)
- 5月18日 全浄連第42回理事会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 6月3日 公益社団法人愛媛県浄化槽協会総会に、全浄連会長代理として出席した。
- 6月24日 全浄連第2回正副会長会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 6月24日 全浄連第10回定時総会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 6月24日 全浄連第43回理事会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 7月19日 全浄連第1回事業委員会(テレビ会議)に出席した。
- 8月10日 全浄連第2回事業委員会(テレビ会議)に出席した。
- 8月17日 全浄連第1回正副会長会議(テレビ会議)に出席した。※
- 8月24日 全浄連第1回保守・清掃委員会(テレビ会議)に出席した。
- 10月3日 第36回「浄化槽の日」全国浄化槽大会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 10月21日 浄化槽推進議員連盟総会・浄化槽整備推進議員懇話会に出席した。
(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 10月21日 全浄連第2回正副会長会に出席した。(衆議院議員第一議員会館)
- 12月15日 全浄連第3回事業委員会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)

- 2月21日 全浄連第3回正副会長会議（テレビ会議）に出席した。
 - 2月21日 全浄連第4回事業委員会（テレビ会議）に出席した。
 - 2月27～28日 全浄連会員団体事務局長会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 - 3月13日 全浄連第4回正副会長会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 - 3月16日 全浄連第2回保守・清掃委員会（テレビ会議）に出席した。
 - 3月23日 全浄連第45回理事会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 - 3月27日 全浄連第4回政策会議（テレビ会議）にオブザーバーとして出席した。
- ※令和4年度の役員改選により正副会長交代したため、開催回数をリセット

(2) 会員関係

令和4年度において、3社の会員が退会した。

<会員の入・退会状況>

令和5年3月31日現在

地 区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備 考
徳 島	58社	0社	1社	57社	
鳴 門	9社	0社	0社	9社	
小 松 島	8社	0社	0社	8社	
阿 南	17社	0社	0社	17社	
海 部	7社	0社	0社	7社	
阿 北	9社	0社	1社	8社	
美 馬	11社	0社	1社	10社	
三 好	23社	0社	0社	23社	
メーカー	12社	0社	0社	12社	
合 計	154社	0社	3社	151社	

<退会会員>

地 区	会 員 名	代 表 者	退会日	部 会
阿 北	テライ設備機器(有)	寺井 幸治	R04.9.30	施 工
徳 島	(有)エスピック工業	中川 幸彦	R05.3.31	施 工
美 馬	藤田商事(株)	藤田 育美	R05.3.31	施 工

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	26社(1)	23社(2)	11社(2)	60社(5)
	鳴 門	7社	2社	0社	9社
	小 松 島	5社	0社	3社	8社
	阿 北	2社	0社	6社	8社
南 部	阿 南	14社	3社(2)	2社(2)	19社(4)
	海 部	3社	3社	1社	7社
西 部	美 馬	7社	1社	2社	10社
	三 好	17社	5社	1社	23社
メーカー					12社
合 計		81社(1)	37社(4)	26社(4)	156社(9)

※複数部会所属会員はそれぞれ部会毎に1社として計算している。
カッコ内の数字は複数部会に所属する会員数

(3) その他

1) 許認可に関する事項

- 1) 徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定（昭和62年3月27日）
- 2) 計量証明事業登録（平成12年12月14日 第74号）
- 3) 建築物飲料水水質検査事業（平成26年2月17日 徳島県東保26水 第1号）

2) 変更認定申請書

役員変更に伴う変更届出書を提出（令和4年6月13日）

3) 役員等に関する事項

（令和5年3月31日現在）

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	田村 茂人	非常勤	豊栄設備工業(株) 代表取締役
副 会 長	森 玄德	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
〃	井内 孝明	非常勤	(有)井内開発 代表取締役
専務理事	柰保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 所長
理 事	高尾 武司	非常勤	(株)ユニペック 代表取締役
〃	高橋 良太	非常勤	ニッコー (株) 高松営業所 所長
〃	岩本 英司	非常勤	(株)岩本総業 代表取締役
〃	林 哲郎	非常勤	毎日衛生(有) 代表取締役
〃	福山 佳孝	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局次長
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

4) 職員に関する事項

（令和5年3月31日現在）

職 員 数	入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	59名	5名	44.9才	14.6年
女性	22名	1名	42.9才	13.3年
合計又は平均	81名	6名	44.4才	14.3年

5) 法令遵守に関する事項

①交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入している。また、道路交通法の改正によりアルコールチェックが義務化されたことから、アルコール検知器を用いて酒気帯びの有無を確認し、安全な運転の確保に務めている。

大きな事故の発生は無いが、未だ不注意による事故を根絶できていない。一定以上の事故を起こした職員には教習所での安全運転講習の受講を義務づけることとしている。

事 故 内 容		R3年度	R4年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	0件	0件	0
	任意保険適用事故	3件	10件	+7
人 身 事 故		0件	0件	0
合 計		3件	10件	+7

②個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故
なし

③労務管理上の事故

安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（なし）
（前年度： 1件）

6) 内部統制システムの運用状況

理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制として、社員総会議事運営規則、入会・退会等に関する規則、役員報酬規則、理事会規則、常任理事会規程、役員等職務権限規程、委員会規程、経理規程、財産管理運用規程、印章管理規程、情報公開規程、公益通報者保護に関する規程等を制定し運用している。

5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。